

## 障害者活躍推進計画の実施状況について

令和3年5月

和歌山県障害者活躍推進計画の令和2年度の実施状況について公表する。

### (1) 継続的な障害者雇用の推進

令和2年6月1日時点の本県の実雇用率は2.41%となっており、昨年同時期（2.04%）からは0.37%改善した。ただし、法定雇用率は未達成の状況にあるため、民間の事業主に対して率先垂範する立場から法定雇用率の早期達成に留まらず、継続的な雇用に取り組んでいく。

なお、令和2年4月1日採用は正規職員3名、非常勤職員7名、知的障害者雇用非常勤職員5名を採用している。

### (2) 職場環境の改善に向けた取組及び庁内相談体制の整備

令和2年4月より、庁内の相談窓口として専門員の「障害者職業生活相談支援員」を選任し、障害者である職員本人や、職場の支援担当者等が相談できる窓口を人事課に設置している。

そして、上記相談員と人事課の職員が、年度内に新規採用職員を中心に、面談を実施するとともに、職場の環境整備についてアドバイスをを行い、積極的に障害者の働きやすい職場環境整備に努め、定着率の向上につなげている。

また、障害者職業生活相談員に選任予定の職員に、労働局が開催する障害者職業生活相談員資格認定講習を受講させ、適切な対応がとれるよう相談体制を整えている。

### (3) 職員の障害に関する理解促進・啓発のための取組

職員が障害のある方と一緒に働く経験を持ち、障害者雇用に関する理解を深めることを目的に、特別支援学校の生徒を対象とした県庁インターンシップを毎年継続して実施しており、令和2年度は8月に4名の支援学校の生徒を受け入れた。

また、1月には各所属の職場研修委員を対象に、「障害者雇用にかかる職場研修委員研修」を開催し、職場の障害者雇用に対する理解促進を図っている。

### (4) 働きやすい職場環境整備に向けたアンケート実施の結果について

年度内に障害を持つ職員を対象にアンケートを実施した。76名の対象に対し57名からの回答が得られた（回答率75%）。職場や仕事に関するアンケートに対する回答の集計は以下のとおりになる。

問 あなたは、県庁は働きやすい職場だと思いますか。

- そう思う
- どちらかというと思う
- どちらとも言えない
- どちらかというと思わない
- そう思わない



「そう思わない」「どちらかというと思わない」と答えた職員的主要理由として、職場環境や働き方、通勤手段確保の困難さに関する項目が挙げられた。また、計画策定時のアンケートでは「そう思う」27.1%、「どちらかというと思う」41.7%で計68.8%であり、今回は71.9%でやや改善が見られた。

問 あなたには、職場で仕事の悩みなどを相談できる相手がありますか。

- 同僚
- 上司
- その他
- いない



悩みなどを相談できる相手が「いない」と答えた職員への追加質問で、相談相手として望ましいと考える相手には「上司」と答える職員の割合が半数以上を占め、その他の意見で、相談窓口として専門員の設置を望む意見が挙げられた。

問 あなたは、配属先の作業環境（作業スペース、通路幅、トイレ、スロープ、エレベーターなど）の整備状況や音声読み上げソフト、筆談支援機器などの就労支援機器の導入状況についてどのように思いますか。

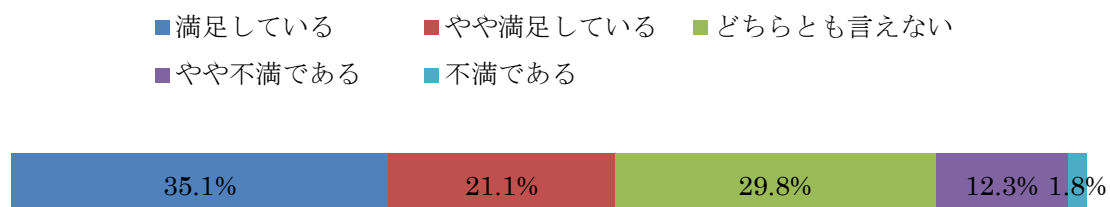
- 満足している
- やや満足している
- どちらとも言えない
- やや不満である
- 不満である



「不満である」「やや不満である」と答えた職員的主要理由として、設備の配置が十分でない、設備があることが周知されていない等の他、作業環境の改善に関する相談先がわ

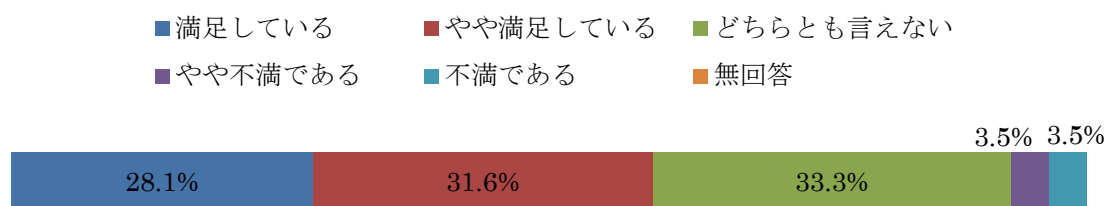
からないといった意見が挙がった。

問 あなたは、県庁における人事異動での配慮や休暇制度、勤務時間に関する制度について、どのように思いますか。



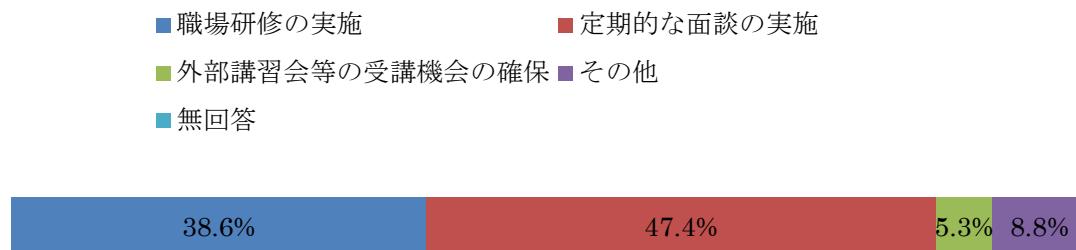
「不満である」「やや不満である」と答えた理由の主なものとして、障害の特性に合わせた休暇や勤務形態の整備の希望、人事異動や事務分担変更の際の配慮等に関する理由が挙がった。

問 あなたは、職場の障害に対する理解の状況について、どのように思いますか。



「不満である」「やや不満である」と答えた理由の主なものとして、障害の種別や程度等によって、周囲の理解や協力を得にくい場合があるという理由が大半を占めた。計画策定時のアンケートでは「満足している」27.1%、「やや満足している」16.7%の計43.8%であり、今回は69.7%であるため大幅に改善した。

問 職場の障害に関する理解を進めるために必要なことは何だと思いませんか。



職場の障害に関する理解を進めるために必要なこととして、研修等により障害に関する知識の習得が必要であるとの意見に加え、障害者である職員と実際に話し合い、本人が必要としている支援等について理解することが重要であるという意見が多く挙がった。

問 あなたの担当業務の満足感について教えてください。

■ 満足している ■ やや満足している ■ どちらとも言えない  
■ やや不満である ■ 不満である



「不満である」「やや不満である」と答えた理由の主なものとして、業務内容や業務量について、自身の希望や能力が十分に活かされていない等の項目が挙げられた。また、計画策定時のアンケートでは、「満足している」25.0%、「やや満足している」37.5%の計62.5%であり、今回は68.4%であるためやや改善した。

#### (5) 総括

本県の実雇用率は法定雇用率に達していないものの、昨年度から大幅に改善し、また、職場環境に関する項目、職場の障害に関する理解及び職務内容に関する項目のいずれについても、満足度は昨年度から向上している。計画目標の達成を目指し、より一層の職場環境の改善に努め、障害者が働きやすい職場作りに努めていく。